

もしも地震が起きたら？



“災害は忘れた頃にやってくる”。予期せぬ地震に備え、日ごろの準備が大切です。普段から家族みんなで、もしも地震が起きた場合の行動について話し合っておきましょう。



先生、地震のときはどうしたらいいのですか？



スローガン あわてず、落ち着いて、安全第一

無理は禁物！大きな地震の場合はマイコンメーターがガスを止めます。

まずは、あわてずにテーブルの下に入るなど身を守ることに！

火を使っていたら揺れがおさまってから落ち着いて消すこと！

ガスの元栓、メーターの栓を閉める！

あとは、テレビやラジオなどから情報収集して安全に行動しましょう。特に大きな地震があった場合は避難することになるので、普段からどうするか、家族で話し合っておいてください。

ウチはどこに避難するんだっけ…

私の家では小学校に避難することになっているわ。

豆知識

大きな地震の発生が心配されている静岡県

東海地震は駿河湾から御前崎にかけた地域を震源として発生すると考えられています。マグニチュード(M)は8で、静岡県内では震度5以上の揺れが続き、場所によっては震度7も予想されます。この地域では1498年、1605年、1707年、1854年と100年～150年の周期で、地震が発生しており、前回の安政東海地震から約150年経過しています。「日一日と東海地震の発生に近づいていると考えるべきだ」というのが、地震学者の一致した意見です。

いつ起こるかわからないからこそ、日ごろから防災用のグッズを用意しておきましょう！

今食べちゃダメよ！

もし地震が発生したら

●自分の身を守りましょう

まず、テーブルの下に隠れるなどして、身の安全を確保！

●火の始末をしましょう

揺れがおさまってから、二次災害を防止するためにガスコンロなどの使用を中止し、元栓を閉めてください。また、ストーブなどの火気も始末してください。

※津波の危険性がある場合には、高台などに避難しましょう。

もし警戒宣言が出たら

●火気の使用はなるべく控えましょう。

やむを得ず使用する場合には、その場所を離れないでください。

●メーターガス栓、容器バルブを閉めましょう。

容器の鎖・鎖止め金具などがきちんと掛かっているか確認しましょう。

もっとも大切なのは日ごろの準備！

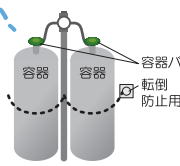
●元栓、メーターガス栓、容器バルブなどの閉め方を覚え、練習しておきましょう。



●緊急時の対応を準備しておきましょう。

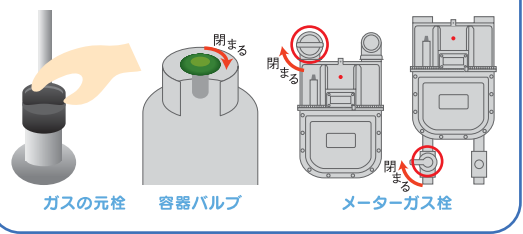
万が一に備え、緊急時の連絡先、避難場所など、家族で話し合っておきましょう。

●容器の鎖・鎖止め金具などがきちんと掛かっているか、建物にしっかり固定されているかを点検しておきましょう。



大規模地震後の措置および注意事項

- ・ラジオ、テレビなどから情報を入手しましょう。自治体などからの要請があった場合には従ってください。
- ・余震に十分注意して容器バルブ、メーターガス栓も閉めてください。周りに高齢の方がいたら、容器のバルブやメーターガス栓などの閉止に協力してください。
- ・ガス漏れを発見した場合、容器バルブを閉止し、LPガス販売業者に連絡してください。



阪神・淡路大震災の被害と東海地震の第3次被害想定との比較

項目	阪神・淡路大震災	東海地震被害想定(予知なし)	阪神・淡路大震災との比較
地域の人口	約547万人	約374万人(静岡県内)	0.7倍
マグニチュード	7.3	8程度	約10倍
震度7の区域	約30K㎡	約131K㎡	4.4倍
人的被害[死者・重・軽傷者]	約5万人	約11万人	2.2倍
物的被害[建物被害(大・中)]	約24万9千棟	約49万棟	1.9倍
津波被害	なし	あり(死者約220人)	—

※阪神・淡路大震災における被害の数字は消防庁災害対策本部 出所：静岡県地震防災センター

